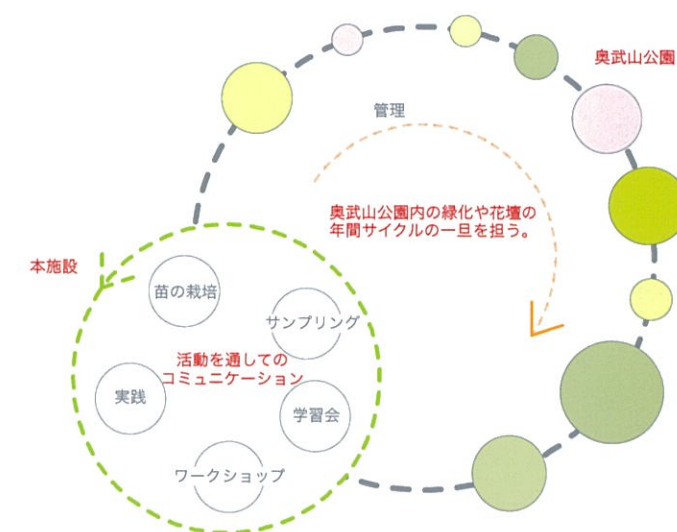


にわのニワ

公園の緑化のサイクルをつくり出し、コミュニティをつくる。新たな発信と発見をここから始めます。

集うだけでなく、発信できる施設として。

市民が交流できる場として機能するだけでなく、奥武山公園全体の「花木」の管理をボランティアとして実践し、運営、活動する事のできる拠点としての在り方を備えた施設を提案します。公園の樹木を収集し育み、公園に寄り添い合う事のできる施設を提案します。



運営方法は案であり実際とは異なります。

一年を通して、変わる花緑々。いつ訪れても違う表情をつくり出します。

棚田の様に配置されたいくつもの花壇は一年を通して様々なガーデニングや奥武山公園に配置される苗を育てる事ができます。それらは、日々違った表情をつくり出し、建物に変化を与える要素となります。

	1月~3月	4月~6月	7月~9月	10月~12月
ヒカンザクラ	■			
サンダンカ		■		
キンレイジュ		■	■	■
オオゴチョウ		■	■	■
サガリバナ			■	
モクセンナ		■	■	■
コバノサンダンカ			■	■
ホウオウボク			■	■
ハイビスカス		■	■	■
コバノランタナ		■	■	■
ヒラメキンソウ		■	■	■
ニオイバンマツリ		■	■	■
ハナスベリ		■	■	■
ツキミソウ		■	■	■
ケラマツツジ		■	■	■
ショウジョウボク	■	■	■	■
アジサイ	■	■	■	■

花や樹木の種類は案であり実際とは異なります。



多目的ホール（屋内）から舞台を眺める。様々な活動が色々な場所で展開します。



北側に配置した貯水池より。水は施設内を通りエントランスまで流れます。



アプローチは花と緑、水に溢れ、施設内での活動が見渡せる計画とします。



花壇を挟んで、舞台と観客席は繋がります。



水辺が流れる施設内。花壇では植え替えや苗を育てる事ができます。

ゆるやかな高低差を利用し機能を配置。

それぞれの空間はゆるやかにつながります。

様々な場所で色々な体験。互いに学び合い、新しい発見が見つかります。

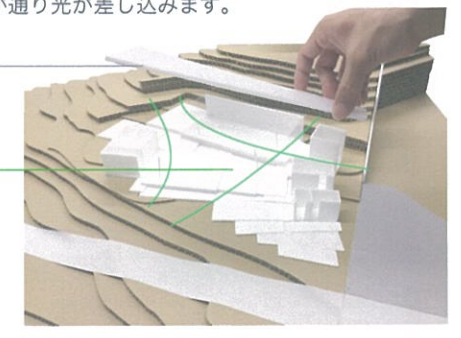
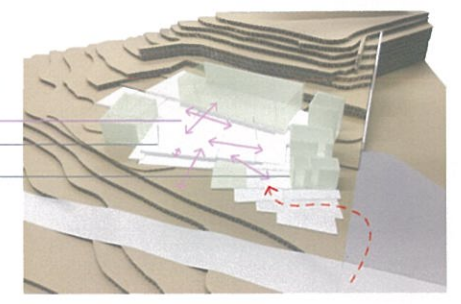
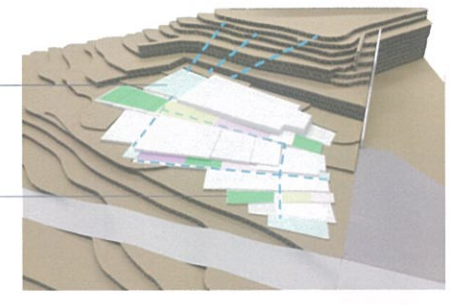
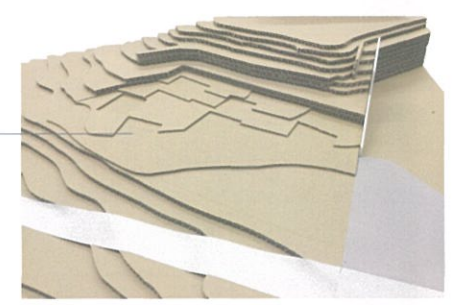
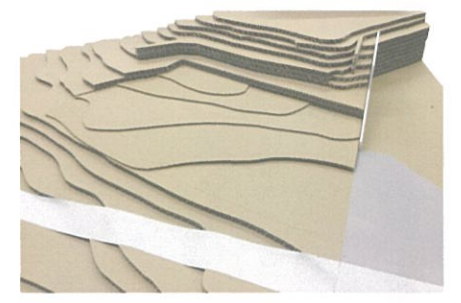


既存の地形を生かした造成計画。

構造は単純な鉄骨ラーメン構造とし、施工性とコストに配慮した計画とします。大屋根は日陰をつくり、屋根と屋根の間から光が差し込む、風が通る、風薫る施設計画とします。

施設計画ダイアグラム

- ① 現状の地形から造成計画を行います。
- ② 計画に沿って造成を行います。その際、土の場外搬出は行わず、盛土等を行いながら、造成を進めていきます。
- ③ レベルの違う、床や花壇を配置します。また、北側には、雨水を集める貯水池を設け、ビオトープや施設内を通る水場に利用します。
- ④ 施設運営の為に機能を配置します。また、細かいスペースの配置で小さなコミュニティがたくさん生まれます。
- ⑤ 大屋根をかけます。半屋外の空間と屋内空間が均質に繋がります。屋根と屋根の間からは風が通り光が差し込みます。



- モクセンナ等の中木を配置します。
- イベント時には開放できる大開口とします。
- 高さの違うスペースは幾つものイベントの同時利用を可能にします。
- 大屋根のかかったスペースで様々なイベントに利用できます。
- 屋根と屋根の間からは風が通り、光が差し込みます。
- 花壇を設置し、ガーデニングクラブを盛り上げます。
- エントランス

施設概要	
構造	鉄骨造/一部RC造 平屋建て
面積	1.多目的スペース 125㎡ (楽屋/倉庫②含む)
	2.トイレ/シャワー室 49㎡
	3.事務室/給湯室/舞台操作室 12㎡
屋内面積	186㎡
半屋外面積	120㎡
造成面積	576㎡

